

ザンビアの子どもたちの足を守り続けて11年 子ども靴下取りまもなく累計100万足

そごう・西武では2009年9月より各店に「子ども靴下取りコーナー」を常設。使わなくなった子ども靴をお客さまからお預かりし、公益財団法人ジョイセフを通じてザンビア共和国に届けています。この活動で子どもたちの足を寄生虫病や破傷風から守っており、2020年8月時点で981,572足を下取り。11月までに100万足を達成する見込みです。

子ども靴下取りサービス詳細

ご不要になった子ども靴を西武・そごうの各店子ども靴売場にある下取りコーナーへご持参いただくと、下取り1点につき、お買い上げ価格5,000円(税込)ごとに1枚ご使用いただける「500円の割引券」とお引き換えしております。

お客さまからお預かりした子ども靴は、途上国の妊産婦と女性を守る活動をしている公益財団法人ジョイセフを通じ、ザンビア共和国に届けられ、子どもたちの足を寄生虫病や破傷風から守っています。※西武所沢S.C.、東戸塚S.C./そごう川口店除く

■100万足達成に向けた取り組み【会期:~11月2日(月)】

ジョイセフオリジナルクリアファイルプレゼント

会期中、子ども靴の下取りにご協力いただいた先着2,000名さま(西武・そごう対象店舗総計)に、ザンビア共和国の女性たちが描いた可愛いイラストの公益財団法人ジョイセフオリジナルクリアファイルをプレゼントいたします。

特設サイトURL: <https://www.sogo-seibu.jp/sustainability/#/vision>

ザンビアの子どもたちからのメッセージ

日本から贈られた子ども靴を手にしたザンビアの子どもたちからのメッセージが届きました。会期中、店頭や特設サイト内でご紹介します。

特設サイトURL: https://www.sogo-seibu.jp/kodomogutsu_houkoku/

■オリジナルクリアファイル



■子ども靴下取りを通じたSDGsの広がり

ザンビア共和国の子どもたちの健康を守る

届けられた靴により、子どもたちの足を破傷風や寄生虫から守り、安心して運動ができるようになってきました。また、「自分の靴」を汚したくない子どもたちには手足を洗う習慣も身に付き、衛生教育にもつながっています。

ザンビア共和国の妊産婦を守る

子ども靴をもらいに来た母親たちに向け、安全な妊娠・出産についての啓発活動を行っています。また、ジョイセフでは、安全な出産のための待機場所「マタニティハウス」の建設に「子ども靴下取り」の輸送で使われたコンテナを利用しています。

日本の子どもたちへの教育

ザンビア共和国の現状や物を大切にすることを伝える紙芝居を店頭やホームページでご紹介。また靴をくれた子どもたちには感謝状をお渡しするなど「ものを大切に作る心」や「グローバルな視点」を育む良いきっかけ作りとなっています。

■靴を履いたザンビアの子どもたち。



セブン&アイグループは、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を定め、4つのテーマで2030年、2050年の目指す姿と達成目標を掲げています。そごう・西武はグループの一員としてさらなる環境負荷低減を推進し、豊かな自然を未来世代に繋いでいきます。

■『GREEN CHALLENGE 2050』イメージムービー: <https://www.7andi.com/csr/movie.html>

※掲載画像はイメージです。